

コスト負担と並行した 効率化の追求

運行効率のKPI管理

①実走率

②実車率

③積載率

発着荷主と3社間で課題の共有
→KPI管理の議論を深める

効率向上のために

- 物量の平準化によりピークの波をなだらかに
- 貨物のマッチング
担当ベース→より上位へ戦略的に拡大
- 情報連携の推進
物流情報プラットフォームの整備
フォーキャストの精度を上げる
フォーキャストを早く・正確に
- 現場の“見える化”による適正コストの把握
作業のKPI管理・計数管理

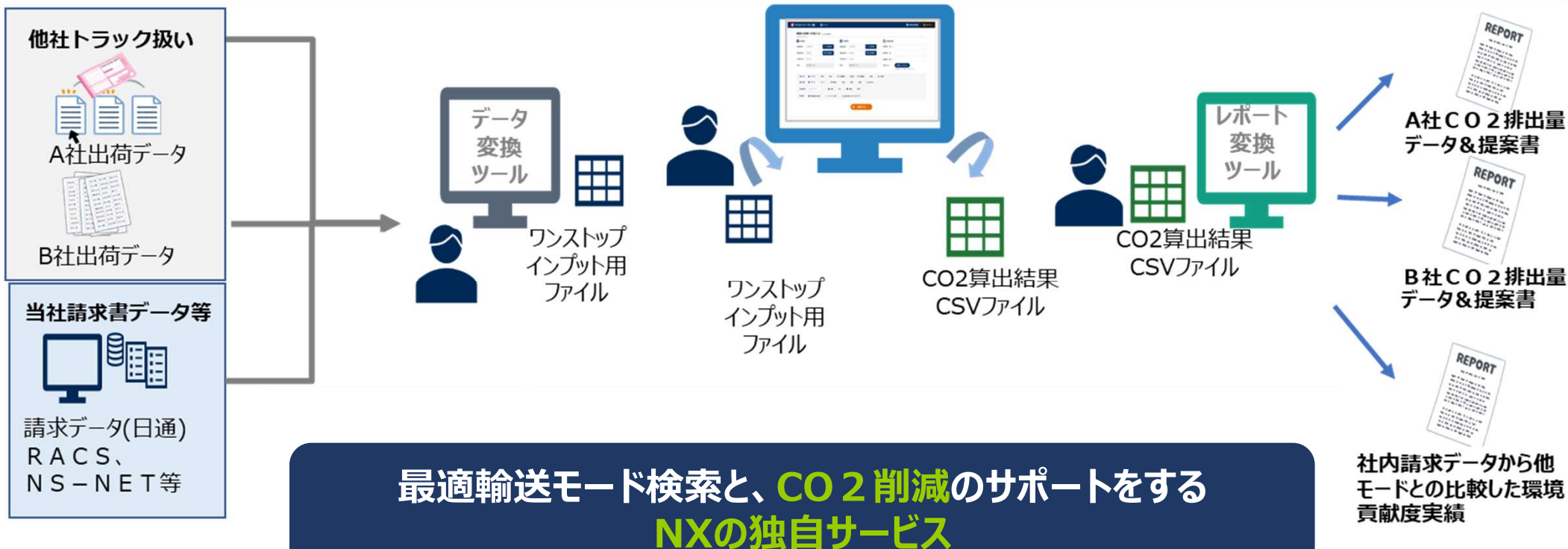
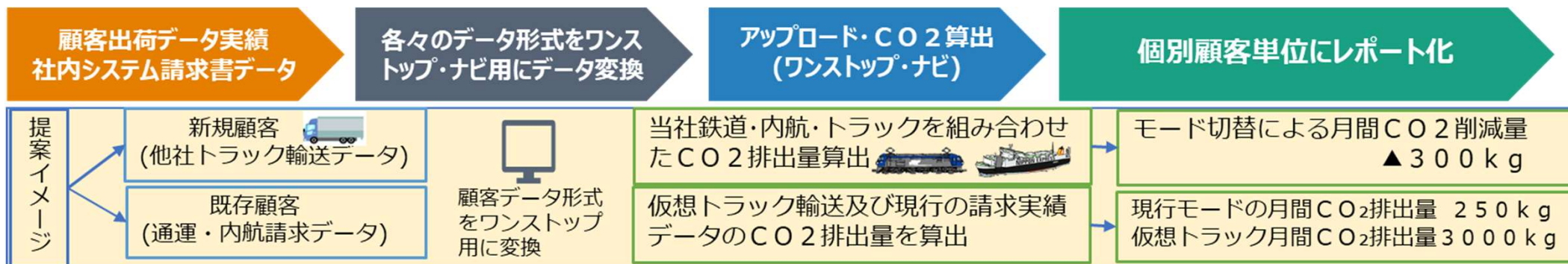
+ 先端技術による効率化

可視化
ロボット荷役、ロボット点呼
自動認識、etc

物流事業者／荷主共同で取り組み



- ・ 過去出荷データからモード別のCO₂排出量を可視化、モード変更による脱炭素効果をレポート形式で提案
- ・ 請求書などのデータからCO₂排出量を計算
- ・ 「ミルクラン方式」など作業改善を提案しながら、集配条件変更によるCO₂排出量を算出



「エコトランス・ナビ」CO2排出量に関する各種レポート

- 第三者検証を受検することにより、算出結果に社会的な裏付けを付与
- 公的機関への提出資料として活用出来ます

エコトランス・ナビ | 報告書 例①

エコトランス・ナビ | 報告書 例②

詳細報告書、補足資料(レポート本紙/分析レポート/実績・計画の各輸送明細)

公的行政機関に提出する指定帳票に値を記載

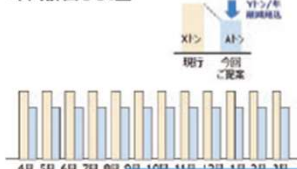
CO2排出量XXXXXレポート

結果サマリ
対象期間: R3年4月1日~R4年3月31日
対象地域: 国内全域

CO2排出量実績値: 200,000トン
CO2排出量予測値: 180,000トン
削減率: ▲20,000トン

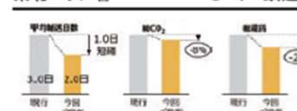
輸送モード(実績): トラック輸送
比較対象モード: 鉄道

年間排出CO2量

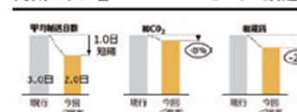


特定期間の総計値の比較

東北エリア着 モード: 鉄道

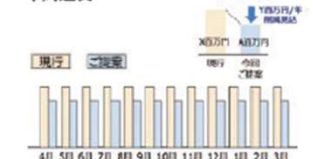


九州エリア着 モード: 鉄道

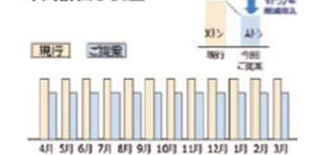


2020年度の実績と提案商品の比較

年間運賃



年間排出CO2量



- ・発エリアと提案するモードを選択できる
- ・特定期間の総金額の比較を記載図は1ヶ月間等の総運賃が、今回提案の方が20%削減されることを表現
- ・特定期間のCO2量の比較を記載
- ・平均輸送日数を記載
- ・発送エリア数分のレポートが作成される想定

- ・年間の総金額と総CO2量の比較を記載
- ・年間の削減金額・CO2量を記載

CO2排出量の算出数値と削減率の把握

項目	輸送モード	輸送距離	輸送重量	輸送回数	輸送日数	輸送時間	輸送コスト	CO2排出量	削減率
実績	トラック輸送	100km	100kg	100回	100日	100時間	100円	100トン	0%
計画	鉄道輸送	100km	100kg	100回	100日	100時間	80円	80トン	20%

物流効率化申請書
(国土交通省)

特定荷主定期報告書
(資源エネルギー省)

Etc.

理解に向けた荷主との
関係づくり

サステナブルな物流システムをつくる意識の共有

①多岐にわたる業務で培われた取引関係



課題解決に連携して取組み

2024年問題

SDGs／脱炭素

ウィズコロナ対応

【メーカー間連携の橋渡し】

- ・ 共同拠点運営
- ・ 共同コンテナ輸送
- ・ 共同船舶輸送

【実務外での協力】

- ・ 全国拠点の最適立地分析
- ・ CO2排出量の分析
(分析システムの提供)



②トップセールスを交えた荷主事業者の経営層の理解

運べないことが経営計画
へ影響を与える

経営戦略／リスク管理

製品の安定供給が
企業価値を向上



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

詳しくはこちらのサイトを御覧ください。<https://www.nittsu.co.jp/ir/disclosure/>